

4. 当科におけるシンチカメラについて

阿武保郎 中村良文 島田 誠
 森崎緑朗 岩元将秀 竹下昭尚
 奥田篤行
 (鳥取大学 放射線科)

その1 —構成および特性—

脳, 肝, 脾, 甲状腺等の形態学的検査, 肝腎機能検査, 脳, 心臓等の循環動態検査, 肺の呼吸機能検査, リニアスキャンによる全身 RI 分布の測定を行なうため, シンチカメラシステムとして本体, データストアプレイバック装置, 400ch 波高分析器, レートメータ, プリンタ, 2ペンレコーダ, メモリスコープ, ライフサイズカメラ, 35mm 自動送りカメラおよびリニアスキャン用寝台で構成した。

シンチフォトは, コリメータ患者間の間隔をできるだけ近づけ, 全視野について20万カウントの割合で撮影すると, 最も解像力が良いことがわかった。また厚さ8cmのファントム (^{131}I) 中の3cm径の欠損像が観察でき, シンチスキャンナーの場合とかわからなかった。

データストアプレイバック装置による再生は, ほぼ70%の効率でおこなわれ, RI 分布の再生による変化は波高分析器で400ch 測定した結果, 認められなかった。リニアスキャンは, 計数率, 分布の広がりやを考慮したとき, スリット巾3cm (コリメータ上) スキャンスピード8cm/分が最適条件であった。

*

5. 当科におけるシンチカメラについて

阿武保郎 中村良文 島田 誠
 森崎緑朗 岩元将秀 竹下昭尚
 奥田篤行
 (鳥取大学 放射線科)

その2 —臨床例—

形態学的検査としては脳, 肝, 脾, 胎盤, 甲状腺等のシンチグラム像を示し, 特に小投与量での胎盤シンチグラム, 低摂取率の場合のピンホールコリメータを使っての甲状腺シンチグラムに有力であった。

動態検査としては脳循環, 心臓循環, レノグラム, また全身スキャン等を示し, 局所循環動態検査への応用, 各種体位におけるレノグラム検査への応用に有力である

ことを認めた。

*

6. Brain Scan の検討

富原健司 渡辺憲治 児玉 求
 (広島大学 第内科)
 正岡孝夫
 (厚生連尾道総合病院)
 村田武穂
 (あかね会土谷病院)
 原田 廉
 (国立呉病院)

われわれは昭和42年6月より昭和46年3月末までの4年間に305症例に611回の脳スキャンを行なってきたので, その結果を検討してみた。

脳腫瘍は120症例で陽性例は76例で診断率は63%であった。そのうち髄膜腫は20例中19例が陽性, 多形性膠芽腫は8例中8例, 転移性腫瘍は12例中11例と成績が良好であった。解剖学的には大脳半球で51例中41例, 第3脳室, 松果体部では12例中8例と陽性率が高いが, 鞍部では20例中4例, 脳幹部第4脳室では11例中1例に陽性例をみただけであった。以上腫瘍全体の陽性率は他の報告より低率であるが, 組織学的, 解剖学的に分類した陽性率はほぼ同じであった。

非腫瘍例で陽性を呈したものは185例中10例で脳内血腫($1/10$), 片側性慢性硬膜下血腫($3/10$), 脳膿瘍($2/10$), Weber Christian 氏病($1/10$), T.T.P.($1/10$), A-V malformation($1/10$), 巨大脳動脈瘤の1例に陽性例をみた。

痙攣や頭痛のみの患者では陽性例をみたものは無かった。

追加:

Metastatic Cancer——ことに Adeno Carcinoma による Meningeal Carcinomatosa の陽性率について

松本 皓

(岡山大学 脳外科)

われわれの教室でも専ら ^{99m}Tc を用いてシンチカメラにてこれまで約300例以上のシンチグラフィーを施行しております。

このうち, Metastatic Cancer の症例も多く, われわれの経験では, 真の意味の Meningeal Carcinomatosa かどうかわづかしい点もありますが, 臨床的にいわゆる Meningeal Carcinomatosa という形で来たものでは mul-